

淀姫 通信

よどひめ つうしん

平成 22 年 4 月 26 日
 皇紀 2670 年
 (西暦 2010 年) 第 5 号
 発行 淀姫神社社務所
 〒859-4501
 長崎県松浦市志佐町浦免 632
 TEL・FAX 0956-72-0653



淀姫神社のある場所は知っていても詳しい事はわからない方が多いのではないのでしょうか？

淀姫神社の主祭神は淀姫命で、他に景行天皇・豊玉姫命の計三柱の神様が祭られています。

景行天皇は第十二代の天皇で、六年間九州の日向(宮崎県)に仮宮を建てて滞在なされ、その後九州御巡幸の時、此の地を清浄の場所としてお選びになり仮宮をお建てになりました。

十四代仲哀天皇のお后であられた神功皇后が新羅へ出兵する時、外征は国家の一大事として諸国に指令を出して船舶を集め武器



鎧をお揃えになりました。また皇后は妹の淀姫命を松浦に遣わし兵と船を集め、松浦地方の族長である磯良を伴い此の地の海辺(柏崎・膳崎)に着船遊ばされました。焚き火をしてお

れるとその火が御厨から見えたので、皇后の妹君がおいでになると聞いていた御厨の住民は、「さては」と思い来てみると淀姫命の一行でありましたので、用意していた蘇鉄の団子を差し上げると、その暖かい心に感激遊ばされ美味しくお召し上がりになりました(一説にはお供の者が差し上げたと言われてます)。これに因んで今でも秋のお宮日大祭(十月二十六日)には、御厨町木場に住む団子を献ずる子孫が持ってきた団子を、先ず裏岩屋に献じてお祭りをを行います。



淀姫神社の左側、淀姫大神の御宮に蘇鉄の団子をお供えします。



淀姫命は松浦より出陣なされた時、沙伽羅龍王より潮満つ玉潮干る玉を借りて三百七十五人船に乗り組み、皇后と共に新羅へ向かわれました。対馬を過ぎ新羅が見えだしたので、潮干る玉を投げられると海が五十里(約二十五キロ)程干し上がり、新羅軍は喜び勇んで攻めて来ました。そこで潮満つ玉をお投げになると潮がどンドン満ち陸の上まで上がり船は王城の門まで達しました。新羅王は和睦を乞い貢ぎ物を毎年送る事を誓い、長い間届

けました。
 淀姫命は御婦朝後志佐の美しさと住民の暖かさを忘れなく、病人の治療や早魃には雨乞いをなされました。

時が下り、第二十九代欽明天皇の御代二十四年(西暦五百六十三年)旧暦九月二十六日に鎮魂鎮座式が行われました。今年で千四百四十八年目の歴史を刻んでおります。

神社紹介 その二

(志佐町内の神社・神祠を紹介しします)

愛宕神社

○鎮座地 志佐町庄野免字恵天(桜梅閣の近く)

○祭神 迦具土神

○例祭日 四月二十四日

○浦町(浦免・旭町・蛭子崎)の火の守護神



寛政六年(西暦千七百九十四年)旧暦正月三十日に浦町が悉く焼失する大火災が起こった為、火の神・迦具土神を祀る



4月24日は浦区会会長・松口十三雄様を始め、関係者の方々がご参りされました。

愛宕神社をお祀りしました。それ以降大延焼する火災が起こっていません。